

歯並びは良くて、 かみ合わせは悪い?



歯並びとかみ合わせはよく混同されがちなのですが、歯並びは単に歯の並び方を指しており、歯並びが良くて上下のかみ合わせが悪いということはあります。かみ合わせが悪いと、噛む筋肉のバランスが悪くなったり、下顎の位置がずれてしまい、頸の痛みや口が開きにくいなどの不調につながります。そして、かみ合わせが悪いことで起こる頸の筋肉の不調和を補正しようと、周囲の筋肉にも大きな負担がかかり、頭痛や肩こり、首の痛みを引き起こし、全身の不調にまでつながることがあります。

かみ合わせに影響する主な原因

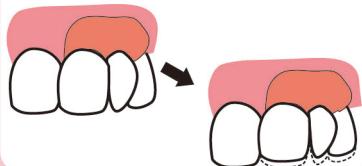
日常での悪い姿勢やクセ

頬づえをつく、足を組む、などのクセが影響する場合もあります。



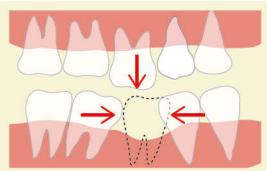
不適合な被せ物や入れ歯など

入れ歯がすり減ったり、被せ物が合っていないと、かみ合わせに影響します。



歯が無いまま放置

周囲の歯が傾いたり移動してかみ合わせに影響します。



むし歯や歯周病を放置

歯周病で歯がグラグラしたり、むし歯で歯が崩壊すると反対の歯うまくかみ合いません。



歯ぎしりや食いしばり

歯がすり減ってかみ合わせに影響するだけでなく、歯の寿命にも影響します。



悪い歯並び

歯並びが悪いと、かみ合わせも悪い可能性が高くなります。



将来のトラブルを減らすためにも、しっかり検査



奥歯が痛いのに、どうしていろいろ検査するの?

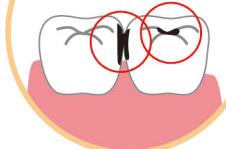
確かにそうですね。しかし、歯の治療はそうもないものなのです。

例えば、痛いと思っている歯が、実は痛みの原因ではないことがあります。そのため周囲の状態もよく調べる必要があります。

また、すぐに症状を出さない隠れた疾患は、その後様々なトラブルを起こす原因になるので、お口の中全体の状態を調べることほど大切なことです。



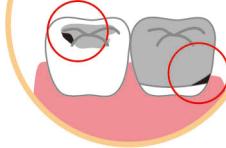
歯と歯の間や
初期のむし歯



すぐに症状を
出さない
隠れた疾患



詰め物と歯の
間のむし歯



歯の根っここの疾患



悪いかみ合わせ

